

# カトリック八尾教会ニュース



## 2023年3月

### 【今月の予定】

### ミサの時間

### Tháng ba

- 5日(日) 四旬節第2主日 9:00 ①グループ(A+B地区+ベトナム①)  
11:00 ②グループ(C地区+ベトナム②+③)  
10日(金) 性虐待被害者のための祈りと償いの日  
12日(日) 四旬節第3主日 9:00 ②グループ(C地区+ベトナム②+③)  
11:00 ①グループ(A+B地区+ベトナム①)  
Lアウグスト・バンバール神父様追悼ミサ(2000年3月17日帰天) 17日(金) 日本信徒発見の聖母

18日(土) 初聖体勉強会 14:00

信仰講座 16:00

19日(日) 四旬節第4主日 9:00 ①グループ(A+B地区+ベトナム①)

11:00 ②グループ(C地区+ベトナム②+③)

ベトナム語のミサ 15:00

20日(月) 聖ヨセフ -----

21日(火、祝) 大阪カテドラル聖マリア大聖堂再献堂60周年行事 (詳細は別途記載)

25日(水、祭) 神のお告げ -----

26日(日) 四旬節第5主日 9:00 ②グループ(C地区+ベトナム②+③)

11:00 ①グループ(A+B地区+ベトナム①)

【平日のミサ】 木曜日 10:00 2日、16日、23日、(9日、30日はお休み)

※四旬節中、ミサ後に十字架の道行きを行います。

### ■ 四旬節黙想会のご案内

【日時】 2023年3月5日(日) 10時10分~10時50分

【指導司祭】 崔 周永神父様

【スケジュール】

≪ 9:00~10:00 ミサ ①グループ ≫

10:00~10:10 休けい

【10:10~10:50 黙想会講話 全グループ】

10:50~11:00 休けい

≪ 11:00~12:00 ミサ ②グループ ≫



※ゆるしの秘跡は四旬節中のミサ前後に受ける事ができます。

# ■ 3月21日 大阪カテドラル聖マリア大聖堂再献堂60周年行事について

日時：2023年3月21日(火・祝)14時～17時30分

場所：大阪カテドラル聖マリア大聖堂

プログラム：14時 パイプオルガン演奏会 奏者：堀江光一氏

14時45分 再献堂60周年感謝ミサ

ミサ後 教皇大使歓迎セレモニー

※今回の行事は特に人数制限は設けませんが、基本的な感染対策には十分にご留意いただいたうえでご参加ください。駐車場は司祭・修道者以外は使用いただけませんので、公共交通機関をご利用ください。(詳細は掲示物又は大阪教区ホームページでご確認ください。)

## ■2023年 四旬節「愛の献金」キャンペーン

四旬節キャンペーン小冊子<四旬節趣意書、2022年度四旬節献金支援先、四旬節をよりよく過ごすために(カリタスジャパン担当司教メッセージ)、2023年4月-2024年3月までのカレンダーを掲載しています。>や献金袋を配布していますので、ご利用ください。



## ■トルコ南東部地震救援募金 受付開始

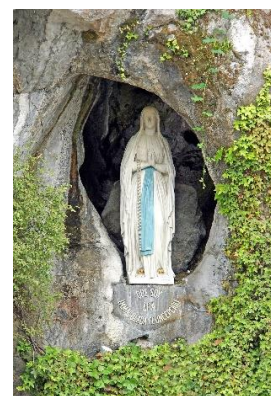
カリタスジャパンは「トルコ南東部地震救援」募金の受付を開始しました。

2月6日未明、トルコ南東部とシリアでマグニチュード7.8の大地震が発生、その数時間後には別の大地震も発生し、現地は壊滅的な状況に陥っています。両国ではすでに1万人を超える人の死亡が報告されており、今後も増えることが予想されています。

国際カリタスでは、カリタス・トルコや現地のカリタスを通して被害の規模やニーズの把握をすすめています。(カリタスジャパンH.Pより)

## ■からし種「世界病者の日」

教皇ヨハネ・パウロ二世によって1993年より2月11日(ルルドの聖母の記念日)を「世界病者の日」と定め、毎年メッセージを発表している。病者がふさわしい援助を受けられるように、また苦しんでいる人が自らの苦しみの意味を受け止めていくための必要な助けを得られるように、カトリック医療関係者だけでなく、広く社会一般に訴え、医療使徒職組織の設立、ボランティア活動の支援、医療関係者の倫理的霊的養成、病者や苦しんでいる人への宗教的な助けなども重要な課題とされている。



しょうきょう くひょうぎかい おこな  
■ 小 教 区 評 議 会 が 行 わ れ ま し た 。 2 月 5 日 ( 日 ) 13 : 00 ~ 14 : 00

ほうこくじこう )  
【 報 告 事 項 】

- ・ 典 礼 委 員 会 — 灰 の 式 2 / 2 2 ( 水 ) 1 9 : 3 0 よ り 予 定 。 四 旬 節 黙 想 会 未 定 。
- ・ 子 ども 会 — 予 定 通 り に 初 聖 体 勉 強 会 を 行 っ て い る 。 対 象 児 童 5 名 。
- ・ 宣 教 司 牧 — 二 十 歳 の 祝 福 1 / 1 5 ( 日 ) 祝 福 式 行 う 。 対 象 者 4 名 、 参 加 2 名 ( メ ッ セ ー ジ と 記 念 品 )
- ・ 社 会 活 動 委 員 会 — 難 民 移 住 移 動 者 に 関 す る 署 名 を 年 末 に 提 出 。 今 月 は 技 能 実 習 生 ベ ト ナ ム 人 女 性 支 援 の 署 名 を 行 っ て い る 。

・ 南 地 区 宣 教 評 議 会 — ① 社 活 よ り 報 告 : 昨 秋 か ら 再 開 さ れ た 釜 ヶ 崎 支 援 の 資 金 5 万 → 4 万 振 込 。  
② 一 粒 会 報 告 : 今 年 8 月 の W.Y.D. ( ワ ー ル ド ユ ー ス デ ー ) 参 加 者 へ の 援 助 金 予 定 ( 10 万 / 人 、 男 子 の 東 京 神 学 院 、 仁 豊 野 ヴ ィ ラ へ の 資 金 援 助 ③ 地 区 会 計 中 間 報 告 ④ 23 年 イ ン タ ー ナ シ ョ ナ ル デ ー 開 催 予 定 。 10 月 第 三 日 曜 日 ⑤ 平 和 旬 間 23 年 教 区 会 合 1 / 28 開 催 ⑥ 23 年 教 皇 メ ッ セ ー ジ を ふ ま え て グ ル ー プ 分 か ち 合 い 。

きょうぎじこう  
【 協 議 事 項 】

1. 八 尾 教 会 23 年 度 予 算 に つ い て ( 財 務 委 員 会 )  
予 算 関 係 資 料 に 基 づ き 、 説 明 が あ り 、 評 議 員 の 承 認 を 得 た 。 23 年 度 次 期 繰 越 金 ( 予 想 ) が 昨 年 度 よ り 41.4 万 円 の 減 少 と な り 、 単 年 度 赤 字 予 算 と な る 見 込 み 。 維 持 献 金 や 建 設 献 金 へ の さ ら な る 協 力 を 呼 び か け て い く 必 要 が あ る 。

2. 四 旬 節 黙 想 会 に つ い て ( 典 礼 委 員 会 )  
ブ ロ ッ ク 連 絡 会 の 提 案 に た い し 、 前 回 の 臨 時 評 議 会 で 合 同 黙 想 会 参 加 の 方 向 で 意 見 が ま と ま っ て い る が 、 ブ ロ ッ ク 連 絡 会 が 2 / 26 に 延 期 に な っ た た め 、 合 同 黙 想 会 が 出 来 る の か 、 出 来 る だ け 早 く 、 検 討 し て 欲 し い 旨 を Fr. 上 田 様 に 連 絡 を 取 る 。 → 評 議 会 後 、 Fr. 上 田 様 よ り 、 感 染 状 況 が ま だ 気 に な る た め 、 今 回 は 見 送 り 、 次 回 待 降 節 黙 想 会 よ り 検 討 し た い と の 返 答 あ り 。

3. 復 活 祭 ( 聖 週 間 ) に つ い て ( 典 礼 委 員 会 )  
4 / 2 ( 日 ) 受 難 の 主 日 < グ ル ー プ 別 > 9 時 、 1 1 時  
4 / 6 ( 木 ) 聖 木 曜 日 < 合 同 > 1 9 時 半  
4 / 7 ( 金 ) 聖 金 曜 日 < 合 同 > 1 9 時 半  
4 / 8 ( 土 ) 復 活 徹 夜 祭 < 合 同 > 1 9 時

→ 多 数 参 加 者 が 予 想 さ れ る た め 、 人 数 把 握 の た め の 参 加 希 望 者 表 を 作 成 予 定 。 駐 車 場 利 用 希 望 者 に は 、 駐 車 場 券 の 配 布 を 検 討 。 ( 行 事 委 員 会 中 心 )

4 / 9 ( 日 ) 復 活 祭 < グ ル ー プ 別 > 9 時 、 1 1 時  
4. 初 聖 体 に つ い て : 現 在 、 対 象 者 5 名 の 初 聖 体 式 は 4 / 9 ( 日 ) 復 活 祭 1 1 時 の ミ サ の 中 で 行 う 。

5. コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 が 5 類 に 変 更 に な っ て か ら の ミ サ の あ り 方 に つ い て  
5 月 よ り コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 が 5 類 に 変 更 さ れ る 予 定 だ が 、 当 教 会 で も コ ロ ナ の 状 況 を み な が ら 、 対 応 を 緩 和 す る 方 向 で 考 え る 。

・ グ ル ー プ 別 ミ サ は し ば ら く 、 現 状 を 維 持 し 、 聖 堂 座 席 数 を 6 0 → 9 0 席 に 増 や し 、 ホ ー ル も 3 0 → 4 0 席 に 増 や す 。 会 衆 は マ ス ク 着 用 の 上 、 小 さ な 声 で 祈 り や 応 唱 を 行 う 。 ( 聖 週 間 よ り )  
\* 次 回 開 催 、 5 / 7 ( 日 ) ミ サ 後 以 上

サイダーは私には恩人のような飲み物だ。何故、ただの飲み物を恩人と思っているのだろうか？  
 2002年に大腸がんにかかり、大腸を30cmほど切ってもらった外科手術の後に、翌年の春から半年  
 間にわたって抗がん剤の治療を受けていた。集中治療といって、一週間だけ入院し毎日抗がん  
 剤を打ってもらう。黒い、分厚いビニール袋で遮光された抗がん剤が、徐々に血管を通して体に  
 入って来る。全部6回、つまり、6回入院していたので、計算すると約36瓶の抗がん剤が体内  
 に入っては、やるべき働きをしていたわけだ。容量も人一倍で、看護師に聞いてみたら、「十分  
 打っていますよ」と。何のための十分ですかとは聞けなかったけど、癌細胞の増殖や転移を防ぐ  
 ために「十分」打っていることは明らか。1回目の一週間が終わるまでは体からの反応は特に  
 なかった。しかし、1カ月後に入院して2回目の治療が始まると、私の体は口から入る一切の  
 物を拒否してきた。少しでも入ってきた食べ物を容赦なく吐き出してしまう。固形の普通の食べ物  
 は勿論、柔らかいスープも、最後はお水も受け付けてくれない。闘病生活、取り分け、抗がん剤  
 治療は体力勝負だ。だけど、何も食べなかったら、きつい、いいえ、ほぼ毒物に近い抗がん剤を  
 受け入れる体力作りはそもそもできっこない。どうする？病室を出ると廊下には自販機があった。  
 そこでサイダーを買っては飲んだ。美味しかった。体の細胞、その隅々に必要な糖分が行き渡っ  
 ていくのを感じた。幸いに、サイダーだけは受け付けてくれた、体が、他の栄養になる全てを拒否  
 していた体、物凄い猛毒に侵されていた体が、白い、透明なサイダーを受け入れてくれたのだ。  
 パタンと落ちてくるサイダーを毎日一瓶くらい飲んでいたかな。その量は覚えてないが、がぶが  
 ぶ飲めたわけではないことは記憶に残っている。3回目の治療が終わりかけた頃から、髪の毛が  
 抜け始めた。なるほど。聞いていたけど、私も例外なくこうなるのだと分かった。そもそも髪の毛  
 が多い方なので、禿げたようにはならなかったが、4分の1ほど抜けていった。当時、実家の大  
 邱(テグ)からソウルの病院まで通いながら集中治療を受けていたので、ボロボロの状態を実家  
 に帰ることになる。寝る、そして、何とか食べる。そして、一カ月後、またバスで、独りでソウル  
 に向かう。6回目の最後の日を今も覚えている。当時、まだ修道士だったので、そのカトリック系  
 病院で働いていたシスター達に大変お世話になっていたが、シスターが写真を撮ってくれた。  
 白髪が増え、髪の毛は薄くなり、体重が減り、病者なんだとよく分かる様子で、私は大変嬉しく  
 笑っていた。抗がん剤治療が無事に終わったと喜んでいた。

理論的に、今の私の体は、砂糖と化学物質で出来たサイダーを受け付けてくれるはずはない。  
 しかし、たまには、むしろ、サイダーが飲みたくなる。今日もそんな一日だった。昼食を取らず、  
 雨に濡れながら自転車ペダルを漕ぎ、汗びしょびしょで玉造に着いては、自転車を綺麗に雑巾掛  
 けてから、食事、その後シャワーを浴びた。しかし、まだ休めない。午後5時の韓国語のミサ司式  
 をしなきゃ。ミサ中、疲れを感じながらも、何故か時々微笑んでしまう。そう。サイダーが思い出  
 されて、ミサが終わったらコンビニで買い物をして、一杯飲みたくなったのだ。あのサイダー。  
 だるい体で、何とか辿り着いたあの自販機の前。自販機全面の照明が、とても頼  
 もしく、まだ見えなかった先の道のりを予告してくれるような、気持ちよい暖か  
 さで、確実にサイダーをよこしてくれたあの自販機！あのサイダーを！

